

【報告】

第9回 子どもの禁煙研究会

2016年7月30日

【研究会】

- ◆開催日：2016年（平成28年）7月30日（土）
- ◆場所：沖縄小児保健センター
- ◆主催：日本禁煙科学会、子どもの禁煙研究会
- ◆後援：沖縄県医師会、沖縄県健康づくり財団、沖縄県小児科医会、
 沖縄県薬剤師会、沖縄県歯科医師会、沖縄県小児保健協会、
 沖縄県看護協会、沖縄県保健医療部、沖縄県教育委員会、
 健康日本21推進全国連絡協議会（順不同）

【主たるプログラム】

- ◇開会の辞
 オリブ山病院 譜久山民子
- ◇第1部
 ・基調講演 未成年への禁煙支援 日本禁煙科学会 高橋裕子
- ◇ミニコンサート
 琉球交響楽団
- ◇第2部
 ・未成年事例紹介：早期にニコチン依存に陥った12歳男児
 事例をもとにグループディスカッション 徳山クリニック 永吉奈央子
- ◇質疑応答
- ◇閉会の辞
 沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学臨床研修事業団 安次嶺馨



第9回子どもの禁煙研究会

日本禁煙科学会HP（子どもの禁煙研究会のページ）

http://www.jascs.jp/kodomo_kinen/kodomo_kinen_2016.php#area_9

抄録集：「禁煙科学 vol.10(15), 2016.07」として発行済

日本禁煙科学会HP（禁煙科学2016のページ）よりダウンロード可能です。

http://www.jascs.jp/kinen_kagaku/kinen_kagaku_2016.html

【開催報告】

第9回子どもの禁煙研究会は盛会裏に無事終了いたしました。

参加くださった皆様、土曜日の貴重な午後の時間、会場にお運びくださってありがとうございました。小・中学校の養護の先生、行政の保健師さん、一般企業の看護師さん、医療機関の看護師、医師、薬剤師、事務職種の方々と、多職種の方々に、合計44名の方にお集まりいただきました。

また終了後、早速、ゆいクリニックの産婦人科島袋史先生から、詳細な参加報告をいただきました。ありがとうございました！！島袋史先生からも紹介のあった参加型のグループディスカッションは、とても楽しく実施でき、終了後アンケートをみても、多職種の方の意見が色々聞いて良かったとの声が多く見受けられました。自分だけの発想では思いつかないようなすばらしい意見が聞けて、なるほど、そういう見方もあるな、ととても刺激になりました。活発なご討議、ありがとうございました。

その中で、徳山クリニックで最近用いている未成年用の資料を皆さんに添削していただきました。「今の子どもこんなに文字読まないよ」「これって何の意味？」などなど、多数ご指摘いただきありがとうございます、改善に生かしたいと思います。また「子どもの禁煙研究会作成の資料」構築できたらいいなと考えていますので、この次もこういう企画をしたいと思います。

さて、研究会ですが、前半は高橋裕子先生の基調講演でした。何回聞いても、聞くたびに最新の知見を得ることができます。その中からいくつかご紹介したいと思います。

「何歳で喫煙者になるのか」

2015年末国内の20万人の大規模調査でも、海外の大規模調査でもほぼ結果は一緒で「12歳頃からはじまり18歳がピーク」である。

「未成年の喫煙有害性」

先々の喫煙関連疾患が増加するだけでなくとどまらず、未成年期における疾患が出現する（ニコチン依存症、肺の成長障害、喘息、動脈硬化、冠動脈硬化など）、他の薬物使用の引き金になる、生活が望ましくない形に変化する（ニコチンの覚せい作用で夜型行動になる、睡眠や食事のリズムが不健康に、味の濃いものを食するなど）

「未成年者の喫煙率は急激に低下している」

しかしゼロにはならない。最近は吸っている子どもは少数派となり、喫煙者であるというレッテルを自分でも貼り、周りからも貼られる。そうするとますます交友関係も望ましくない方向に行きやすくなっている。

「11歳までの試し喫煙経験者は、将来喫煙者になりやすい」

ひと口でも絶対に口にしてはならないということ、できるだけ早い時期に教え込む必要がある。

「未成年者の治療では、中断が多いことが問題」

その防止策として、奈良県において学校と病院の調整に保健所が入るシステムを構築し、中断率が10%にまで減った成績を報告。

以上簡単ですが一部をピックアップしてのご報告でした。

さて、ミニコンサートは、高宮城徹夫様によるヴァイオリンコンサート。

心地よいクラシック小品に、ディズニーソング、タンゴ、情熱大陸、ニウレンファ。マルチミュージシャンならではの、ジャズテイストを交えた軽快で情感豊かな演奏に、皆さん聴き惚れたのではないのでしょうか。今回はちょっとかわった楽器「サイレントヴァイオリン」を使った演奏でした。アンプを通して聞こえる音は、ジャズやタンゴといった曲にマッチしており、これまでに聴いたアコースティックのヴァイオリンとはまた違った味わいがありましたね。ニウレンファでは本当に二胡のように聴こえました。

ピアノ伴奏の山城香苗様もパリ留学、室内楽ディプロムを優秀な成績で取得され、国際コンクールでも上位入賞された実力派。このような本格的な演奏を研究会で聴けるなんて、本当に贅沢です。このミニコンサートの企画は、すべて安次嶺馨先生のご尽力によるものです。本当にありがとうございます。

さて、今後の開催日程ですが、

平成29年2月19日（日）全国禁煙アドバイザー育成講習会 テーマ「職域の禁煙推進」

平成29年7月29日（土）子どもの禁煙研究会

の開催が決まりました。場所はいずれも沖縄小児保健センターです。今から日程を調整して、ぜひみなさまご参加ください。お待ちしております。

（報告：徳山クリニック禁煙外来の永吉奈央子、子どもの禁煙研究会事務局）